



CLUB FANTASY'S EVENING 2021



<https://music-club-fantasy.org/>

主催／クラブファンタジー（神戸女学院大学音楽学部同窓会）

後援／神戸女学院教育振興会、公益社団法人 神戸女学院めぐみ会

神戸女学院大学音楽学部卒業生による
クラブファンタジーの夕べ

2021.10.16 **土** 13:00開演
(12:30開場)

兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール



CLUB FANTASY'S EVENING 2021

ごあいさつ

クラブファンタジーは今年で創設 70 周年を迎え、
卒業生として 70 年に渡る歩みに感謝いたします。

クラブファンタジーは、1951 年に音楽学部卒業生の同窓会として
「相互の研鑽と親睦を図り、力を合わせて母校の発展に寄与する」との
目標を掲げて発足しました。

昭和、平成、令和と時代は流れ、現在会員数は 3000 人余りとなり
日本国内だけではなくヨーロッパ、アメリカなど海外においても、
それぞれ演奏家・指導者として活躍しています。

その様子は、毎年発行される「クラブファンタジーだより」や、
2018 年に開設しましたクラブファンタジーホームページで閲覧することができ、
今や会員の研鑽を支え親睦を図るための「場」の一つとなっています。

また、クラブファンタジーでは母校の教育振興財団への寄付、
在校生へのクラブファンタジー賞、更に海外派遣研究生にも支援し
音楽学部主催の演奏会後援も行っております。

昨年より、新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言が発令され、
人々の生活も変化し音楽活動が滞る状況に陥りました。

このような時こそ、人々に癒し、慰め、
勇気を与えることの出来る音楽を届けたいとの気持ちで
「70 周年記念クラブファンタジーの夕べ」を開催します。

共に祝ってくださいますよう、お祈り申し上げます。

クラブファンタジー会長 奥村 智美

CLUB FANTASY

クラブファンタジーの皆様、創立70周年、まことにおめでとうございます。日頃より、神戸女学院の教育をお支えくださいますこと、ここに改めて感謝を申し上げます。会長の奥村智美先生、また役員、会員の皆様のご奉仕を思い、心より敬意を表します。

神戸女学院大学音楽学部は本年創立115周年を迎えました。しかしながら、ご承知のように、女学院における音楽教育の開始は学院創立以前の私塾時代、1873年にまでさかのぼります。三つの世紀にまたがる歴史をもち、堅実に伝統を橋渡ししてこられました。神戸女学院は2025年の創立150周年に向け、“Bridging Generations”とのメイン・メッセージを掲げて準備を進めています。この "Bridging" に関し、音楽教育が果たす役割は本当に大きなものです。クラブファンタジーのお働きがますます深められてまいりますよう願っております。

本日の創立70周年を祝う「クラブファンタジーの夕べ」に会員の皆様の貴いご尽力と厚い時間の重なりを覚えます。姉妹、親子——時空を超えて音楽学部に学ばれた方、また最も新しい専攻である舞踊の卒業生も出演されます。文字通り "Bridging" を体現するひとときであると感じます。よき演奏会となりますよう、天よりの祝福と導きをお祈り申し上げます。

学校法人神戸女学院 院長 飯 謙

クラブファンタジー創設70周年記念「クラブファンタジーの夕べ」が開催されますことに心からお祝い申し上げます。創設以来、神戸女学院の発展にご貢献をいただき、輝かしい歴史を積み重ねて今日をお迎えになられましたことに深く敬意を表します。また、会長の奥村智美先生をはじめ役員、会員の皆さまには神戸女学院の教育をお支えいただき心より御礼申し上げます。

クラブファンタジーは神戸女学院で音楽を学ばれた方々によって構成されています。神戸女学院という学舎において結ばれた絆が目に見える形で継続され、ご卒業後も親睦を深めつつ研鑽を積んでおられる姿は在学生に具体的な目標や夢を与えてくださっています。

また成績最優秀者に「クラブファンタジー賞」を贈ることも学生の励みになっております。

昨年来のコロナ禍で人と人の繋がりの大切さを、私たちはこれまで以上に実感してきました。この繋がりは他者を想う心によって豊かなものとなります。人と人を繋ぎ、感性を育む音楽の力はいつの時代も欠かすことができません。クラブファンタジーの益々のご発展と皆さまのご活躍を心よりお祈り申し上げます。今宵の演奏会が祝福と恵みにあふれる時となりますように。

神戸女学院大学 学長 中野 健一

本日は、「クラブファンタジーの夕べ」の開催にあたり、音楽学部を代表致しまして心よりお祝い申し上げます。歴史の中において、人々が困難に直面したときに、芸術は常に人々に寄り添って、その心を癒し、勇気を与え、その困難を乗り越えるための力となってきました。

ベートーヴェンの音楽を聴いた時に、これだけの時間が経過した今でも、我々は彼の背負った困難を感じ、彼が自分の音楽にのせて伝えようとした大切なメッセージを感じとることができるのです。テクノロジーがここまで進歩した現代においてすら、説明したり証明したりすることのできない、しかし感じるることのできる人には確実に存在する力がそこにはあります。芸術に触れることによって、困難を避けるのではなく、その困難に立ち向かいながら生きていく術を我々は与えられるのです。

コロナ禍でまだまだ世界中が大変な状況の中にありますが、神戸女学院大学音楽学部卒業生の皆様が集い創り出す本日の公演が、ご来場くださいました多くの方々の心を癒す公演となりますことをお祈りいたします。

神戸女学院大学 音楽学部長 島崎 徹

Program プログラム

CLUB FANTASY'S EVENING 2021

Program I Music Concert

ご挨拶 クラブファンタジー会長 奥村 智美

「今日ありて」 讃美歌より

「春」 新川和江 作詞 信長貴富 作曲

【特別出演】クラブファンタジーコーラス

1 Jewelry／八木澤 教司

第1楽章 Diamond

第2楽章 Ruby

第3楽章 Topaz

第4楽章 Emerald

第5楽章 Lapis Lazuli

第6楽章 Black Onyx

フルートアンサンブル

Violette Lien (ヴィオレットリアン)

安藤 史子 珍坂 ゆきこ 藤森 友香

岩井 香那 松田 晴香 山川 美和

2 歌劇《ヴァネッサ》より〈冬の訪れが早いのはどうして?〉／バーバー

歌劇《サフォー》より〈おお、わが不滅なる豎琴よ〉／C. グノー

メゾソプラノ 十合 翔子

ピアノ 上野 実佳

3 我が故郷より／B. スメタナ

ヴァイオリン 東城 彩香

ピアノ 金月 里紗

4 ラ・ヴァルス／M. ラヴェル

第1ピアノ 鹿島 久美子

第2ピアノ 鹿島 早希子

Program II Music Concert

1 小ジャズ・ミサ／B. チルコット

キリエ

グロリア

サンクトゥス

ベネディクトゥス

アニュス・デイ

女声アンサンブル
petit à petit (プティ・タ・プティ)

ピアノ 金月 里紗

2 《アンダルシア舞曲》より／M. インファンテ

第2曲 感傷的に

第1ピアノ 山内 愛

第3曲 優雅に

第2ピアノ 内藤 菜穂子

3 《オテッロ》より〈柳の歌～アヴェ・マリア〉／G. ヴェルディ

ソプラノ 畑 友実子

ピアノ 蛭川 千佳

4 ピアソラ作品より／A. ピアソラ

デカリシモ (山本京子編曲)

オブリヴィオン (山本京子編曲)

天使の死 (パブロ・シーグレル編曲)

リベルタンゴ (ベンジャミン・ボエヘ編曲)

第1ピアノ 熊谷 啓子

第2ピアノ 藤溪 優子

Program III Dance×Music Performance

1 lights／坂本 龍一

振付・ダンサー 川崎 萌々子

ダンサー 面本 望々子

2 夢境

《くるみ割り人形》より〈行進曲〉／P.チャイコフスキー

浄夜／A.シェーンベルク

振付 三崎 彩

ダンサー 貴島 佳子 ダンサー 河野 早百合

3 La campanella／F.リスト

振付 田中 早紀 ダンサー 樋渡 祐帆 ダンサー 面端 優花

ピアノ 三谷 万葉 ソプラノ 松浦 綾子

映画《ラベンダーの咲く庭で》より

〈ヴァイオリンと管弦楽のためのファンタジー〉／N.ヘス

You were there／リベラ

振付・ダンサー 田中 早紀

ピアノ 三谷 万葉 ソプラノ 松浦 綾子

Song commentary 曲目解説

Program I Music Concert

1 Jewelry／八木澤 教司

現在、神戸女学院大学で教鞭を執り、吹奏楽曲が世界中で親しまれている八木澤教司氏のフルートアンサンブルの作品。各楽章には6つの宝石の名前(ダイヤモンド、ルビー、トパーズ、エメラルド、ラピスラズリ、ブラックオニキス)が付けられていて、それぞれの宝石を彷彿させる煌びやかな響きをピッコロからアルトフルート、バスフルートまで幅広い楽器を使い表現されます。宝石の持つ輝きをフルートの美しい音色でイメージ出来るかが聴きどころです。正式な英語ではジュエリーに複数形はないですが日本語ではあえて複数形にしているそうです。

2 歌劇《ヴァネッサ》より〈冬の訪れが早いのはどうして?〉／バーバー

ヴァネッサの姪エリカによってオペラ第1幕に歌われる。彼女は窓の傍で本を手に取り、物語の要である“冬”についての詩を純粹無垢に朗読する。冬の情景が浮かぶ旋律の中に時折切なげなハーモニーが垣間見えるのは、これから先に起こる物語への予兆なのかもしれない。

歌劇《サフォー》より〈おお、わが不滅なる豎琴よ〉／C. グノー

オペラ終幕に詩人サフォーによって歌われる。彼女は恋人であるファオンを救う為に亡命前の彼に別れを告げる。真実を知らぬファオンは彼女を呪うがサフォーはそれら全てを許し、旅立つ彼を見送す頂きの上から最愛の恋人を祝福しつつ、深い海の中へ身を投げ永遠の眠りにつく。

3 我が故郷より／B. スメタナ

チェコ国民楽派の祖スメタナ(1824-1884)が、「モルダウ」で有名な連作交響詩「我が祖国」に続き、1880年に遺した二重奏曲。冒頭から溢れる素朴ながら内に秘めた郷愁は、次第に民族舞踊の要素を取り入れながら、華やかに広がっていく。当時のハプスブルク帝国支配下、ドイツ語が公用語であった町に生まれ育ち、自国語をよく知らず晩年を迎えた作者の、母国独立への願いと愛郷の念の現れであろうか。なおこの頃、彼はすでに感染症により聴力を完全に失っている。聴衆を、各々の「故郷」へと誘ってくれる、美しい傑作である。

4 ラ・ヴァルス／M. ラヴェル

「渦巻く雲間から、ワルツを踊る人々がかすかに浮かび上がって来る。次第に雲が晴れていき、巡回する大勢の人達で埋め尽くされた大広間が現れ、次第に明るくなる。シャンデリアの光が燦然と輝く。1855年頃の宮廷」と作曲者が言葉で寄せた作品。フランスの作曲家、モーリス・ラヴェル(Maurice Ravel 1875～1935)の管弦楽曲を作曲家自身で2台ピアノや独奏に編曲した。ウィンナ・ワルツのイメージを周到に用意されたクレッシェンドの積み重ねで華麗で退廃的な雰囲気醸し出し怒濤のクライマックスを迎える。

Program II Music Concert

1 小ジャズ・ミサ／B. チルコット

今年66歳のイギリスの合唱作曲家、指揮者、歌手であるボブ・チルコットの作品。伴奏にピアノトリオを用いたジャズテイストなラテン語による小ミサ曲。グルーヴィーなキリエ、スウィングするグロリア、スローなサンクトゥス、軽快なベネディクトゥス、そしてブルーギーなアニュスデイの5曲で構成されている。本日はピアノ伴奏で、ピアニストの軽妙なアレンジと共に楽しみ頂きます。

2 《アンダルシア舞曲》より／M. インファンテ

マヌエル・インファンテ(1883～1958)はスペインのアンダルシア地方・セビーリャに生まれた作曲家、ピアニスト。芸術的な刺激を求めてパリに移住し、フランス印象主義に影響を受けながらも、母国スペイン・アンダルシアの民族的なリズムや旋律を用いて、その情景を見事に描き出した作品を多く残している。『アンダルシア舞曲』もそのうちの一つで、プリモが奏でるスペインらしい情熱的な旋律と、セカンドが奏でる躍動感のあるリズムが一体となって作られる音楽が魅力的である。全部で三曲から成っており、本日はその中から二曲目と三曲目をお届けする。まず演奏する「Sentimiento 感傷的に」は印象的なカデンツァで始まり、曲想の変化が魅力的である。次の「Gracia 優雅に」はアンダルシア民謡の「エル・ビト」を使ってリズムカルに書かれている。太陽の国スペインの誇り高くも奔放な音楽を、是非お楽しみいただきたい。

3 《オテッロ》より〈柳の歌～アヴェ・マリア〉／G. ヴェルディ

「オテッロ」はヴェルディが作曲した26のオペラのうち25番目の作品で、彼が74歳の時の作品です。原作はシェイクスピアで、この偉大な作曲の戯曲と円熟期にあった彼の才能とが合わさってオペラ史上、最も優れた作品の一つとなっています。デズデーモナが歌うこの曲は、疑い晴れぬままオテッロ(夫)に殺されるのでは、と不吉な予感に怯えながら祈り歌う曲です。

4 ピアソラ作品より／A. ピアソラ

アストル・ピアソラ(1921～1992)はアルゼンチン生まれ。18歳頃にブエノスアイレスでタンゴの世界に入りバンドネオン奏者となる。30歳を過ぎてパリへ留学しN.ブーランジェに作曲を師事するが、クラシックよりタンゴの作曲をするよう激励される。帰国後は自らのアンサンブルを組み代表的な作品を残した。
◆デカリシモ／1961年発表。1920年代に活躍したフリオ・デ・カーロに捧げられた曲。
◆オブリヴィオン／1984年のイタリア映画「エンリコ四世」の挿入曲。

以上の2曲は、多数のピアソラ作品の編曲で高い評価を得ている本学卒業生の山本京子による編曲。

◆天使の死／1962年発表。“天使のシリーズ”として、ブエノスアイレスの巷に現れ消えて行った一人の幻の天使を描いている。タンゴ風のフーガで始まる。
◆リベルタンゴ／「6つのタンゴ」の中の1曲で1974年作。タイトルは「リベルタ(自由)」と「タンゴ」を合成したとされる。

Program III Dance×Music Performance

1 lights／坂本 龍一

僕のでのひら つよく握った 君を守っていたい 生まれてきた奇跡にただ導かれながら
君のでのひら つよく握って 明かりの灯るところへ
生きていたい理由がある もうすぐ雨も止むだろう 明かりの灯るところへ
玉置浩二「明かりの灯るところへ」より抜粋

2 夢境《くるみ割り人形》より／P.チャイコフスキー 浄夜／A.シェーンベルク

この度、同じ舞踊専攻の先輩の三崎彩さんの作品を踊ることができて、とても嬉しく思います。また、卒業してもこうして繋がることのできる場所があることに感謝しております。この「夢境」という作品は、くるみ割り人形より「行進曲」とシェーンベルクの「浄夜」の2曲で構成されております。バレエ「くるみ割り人形」では、少女クララは夢の中で素敵な世界へ向かいますが、この作品では少し奇妙な世界へと迷い込んでいきます。もしクララが悪夢をみていたら...と想像しながらご覧ください。

3 La campanella／F.リスト

鍵盤を流れる印象的な指の動きまたその動きから奏でられる音とで走馬灯のように移り行く様をイメージしました。人は人生の最後走馬灯を見ると表現されます。何があっても必ず日は沈み、明けていく。私達の1日は果てない走馬灯の一部を生きているのではないのでしょうか。

映画《ラベンダーの咲く庭で》より〈ヴァイオリンと管弦楽のためのファンタジー〉／N.ヘス 他

全ての感情はその対する感情から湧き上がってくるものであるように、自分自身の根本から湧き上がってくる渦の様な感覚、感情を表現しました。全てが折り重なり極限まで達した感情の最後は…。



クラブファンタジーコーラス

1983年クラブファンタジー初代・2代会長の野崎住子・下里智恵子両氏により、共に讃美歌を歌い会員相互の親睦を深める目的として創設。以来38年余、下里智恵子氏、桑田絲子氏らの指導で、音楽学部卒業生が専攻を問わず参加できる団として今日に至る。2003年2008年2011年に演奏会開催。めぐみ会支部の集会、クラス委員総会に加え、医療・高齢者施設などでも演奏。讃美歌に留まらず幅広い分野の曲に取り組んでいる。

【指揮者】八木 蓉子 【ピアニスト】大野 芽里
【ソプラノ】高村 眞理子 足立 眞知子 中野 道子 宮本 恭子 遠藤 啓子 宇治 広子
【メゾソプラノ】伊丹 静子 黒川 楨子 上中 紀子 津田 基子 井阪 恵子
【アルト】高山 和子 飯野 奈津子 山田 由紀子 廣田 周子 久保 章子



安藤 史子



珍坂 ゆきこ



藤森 友香



岩井 香那



松田 晴香



山川 美和



フルートアンサンブル Violette Lien

2011年、宝塚を中心に阪神間で活躍するフルーティストで結成。グループ名は宝塚の花「すみれ」という意味のViolette(仏)と「絆」という意味のLien(仏)を合わせ名付けました。個々で活躍するメンバーが結束、地域文化の貢献と更なる音楽研究を目指しています。日本フルートコンベンション出演や宝塚ベガホールで定期公演を開催。ピッコロ、フルート、アルトフルート、バスフルートを使い、クラシック音楽を中心に独自のレパートリーを持つ。

鹿島 久美子 Kumiko Kashima / ピアノ



神戸女学院大学音楽学部卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程修了。同大学オータムコンサート、新人演奏会、大学院修士課程修了披露演奏会に出演。ハンナ・ギュリック・スエヒロ記念賞受賞。ショパン国際コンクールin ASIA、日本クラシック音楽コンクール全国大会出場。大阪国際音楽コンクール リサイタルコース入選。サン＝サーンスピアノ協奏曲第2番をシンフォニア・アルシスOSAKA と協演。奥村真理氏に師事。

鹿島 早希子 Sakiko Kashima / ピアノ



神戸女学院大学音楽学部卒業。神戸女学院大学新人演奏会、同大学オータムコンサート出演。ハンナ・ギュリック・スエヒロ記念賞受賞。第11回日本パッサコンクールオンライン大会金賞受賞。クラシック音楽コンクール全国大会出場。ベトロフピアノコンクール奨励賞。ラヴェルのピアノ協奏曲をシンフォニア・アルシスOSAKAと協演。川西音楽家協会フレッシュコンサート等、各種コンサートに出演。奥村真理氏に師事。

女声アンサンブル petit à petit



1989年1月結成。神戸女学院大学音楽学部声楽専攻卒業生から成る。合唱にとどまらず独唱、重唱と多彩な編成で宗教曲からポピュラーまで幅広いレパートリーをこなす。多くの演奏会や催しで親しみやすい演奏と美しいハーモニーで好評を得ている。作曲家諸氏との交流も盛んで多くの作品の初演も行っている。2003年CD「はる・なつ・あき・ふゆ」をリリース。2010年にはシンガポール公演を行い好評をえた。

青島 順子 黒江 薫 塩見 玲子
末廣 孝子 永松 久美子
久泉 寛美 宮脇 伸子 渡沼 雅子

山内 愛 Mana Yamauchi / ピアノ



神戸女学院大学音楽学部卒業、同大学大学院音楽研究科修了。ハンナギュリックスエヒロ記念賞、卒業時にクラブファンタジー賞受賞。同大学新人演奏会、よんよんコンサート、関西新人演奏会等に出演。兵庫県学生ピアノコンクール高校生の部最優秀賞及び、兵庫県知事賞等受賞。第10回宝塚ベガ学生ピアノコンクール第3位。兵庫県立美術館でソロリサイタルを開催。山内鈴子氏に師事。宝塚演奏家連盟会員、演奏グループ"赤とんぼ"メンバー。

内藤 菜穂子 Nahoko Naito / ピアノ



兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、神戸女学院大学音楽学部卒業、同大学大学院音楽研究科修了。鈴木豊子記念賞受賞。第85回読売新人演奏会に出演。兵庫、大阪にてソロリサイタルを開催。これまでに山本未央、小西豊子、松村英臣、成瀬修、坂井千春、山上明美の各氏に師事。現在は関西を拠点に演奏活動を行っている。大阪スクールオブミュージック専門学校非常勤講師、エリーゼ音楽アカデミー講師、神戸女学院大学伴奏要員。

十合 翔子 Shoko Sogo / メゾソプラノ



神戸女学院大学音楽学部卒業。クラブファンタジー海外研修助成金拝受。新国立劇場オペラ研修所第19期生修了。ANAスカラシップによりミラノ・スカラ座、バイエルン州立歌劇場にて研修。オペラには『カプレーティとモンテッキ』ロメオ、『ドン・ジョバンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『イル・カンピエッロ』オルソラ等で出演。文化庁新進芸術家海外研修員としてイタリアにて研修。2021年ABRUZZOオペラフェスティバル『チェネレントラ』タイトルロールでイタリアデビュー。佐々木美穂、河村さと子、斉藤言子、William Matteuzziの各師に師事。

東城 彩香 Ayaka Tojo / ヴァイオリン



神戸女学院大学音楽学部卒業。在学中、推薦を得て同大学オータムコンサート、新人演奏会、及び関西新人演奏会に出演。その後、ベルギー王国政府奨学金を授与され渡欧。王立モンス音楽院修士演奏課程に学び、優秀賞を得て修了。ベルギー・フランス各地での芸術活動を経て、2013年末に日本へ帰国後は、後進指導の他、室内楽・オーケストラを中心に活動を行っている。これまでに、豊島直子・稲垣美奈子・アレクセイ・モシコフ・ダニエル・ルービンシュタインの各氏に師事。



畑 友実子 Yumiko Hata ／ソプラノ

神戸女学院大学音楽学部卒業、イタリア国立パルマ音楽院修士課程修了。アカデミアADADSディプロマ取得。兵庫県高等学校独唱独奏コンクール銅賞及び審査員特別賞受賞。大阪国際コンクールAge-G部門第三位。ジヴェッロジュゼッペヴェルディ国際コンクール第一位。ヴェルディ「レクイエム」トスカニーニオーケストラと共演。パルマ王立歌劇場ヴェルディフェスティバルに出演。関西二期会準会員、宝塚演奏家連盟会員、神戸女学院大学音楽学部非常勤講師。斉藤言子、Lucia Rizzi, Giulianna Panza, Maria Cazoni 各氏に師事。



熊谷 啓子 Keiko Kumagai ／ピアノ

神戸女学院大学音楽学部卒業、同研究生終了。母校の伴奏要員、関西二期会のピアニストを経て、合唱の伴奏者として演奏会、コンクール、新曲初演などの場で意欲的に活動している。アンサンブルピアニストとして内外の演奏家と多数共演し、編曲も手掛けている。ピアノを奥村智美、チエコ・カサドの各師に師事。公益社団法人めぐみ会音楽教室ピアノ講師。KCクロウバーピアニスト。



藤溪 優子 Yuko Fujitani ／ピアノ

神戸女学院大学音楽学部卒業、同大学専攻科修了。同新人演奏会出演。奥村智美、G. スマート各氏に師事。ソロリサイタル開催、クラフ室内管弦楽団、テレマン室内オーケストラ等と協演。C. イヴァルディ、A. シビリ、三ツ石潤司各氏のレッスン受講。チェンバロを中野振一郎氏に師事。'02～'20年神戸PIA Julienにて室内楽・声楽とのアンサンブルを227回開催。アンサンブル・フロット鍵盤奏者、日本演奏連盟、神戸フォーレ協会、関西音楽人クラブ会員。



上野 実佳 Mika Ueno ／ピアノ

神戸女学院大学音楽学部ピアノ専攻卒業。第二主専攻作曲修了。同大学大学院修士課程修了。大学卒業時に大学より第18回鈴木豊子記念賞(特別伴奏賞)を授与される。同大学オータムコンサート及び新人演奏会、南大阪新人演奏会に出演。第46回堺新人演奏会、第19回泉の森フレッシュコンサートに選拔され出演。ピアノを角島右子、植田味香子、山下泰夫、山上明美の各氏に、作曲を石黒晶氏に師事。



金月 里紗 Risa Kingetsu ／ピアノ

神戸山手女子高等学校音楽科を経て、神戸女学院大学音楽学部ピアノ専攻卒業。在学中、作曲セカンドメジャー試験に合格し同専攻も修了。同大学新人演奏会出演。現在、声楽や器楽の伴奏の他、作曲家の新作発表などのピアニストを多数務める。ピアノをボリス・ベクテフ、上野久美子の各氏に、作曲を石黒晶氏に師事。女声アンサンブル"ブティ・タ・ブティ"ピアニスト。神戸市混声合唱団ピアニスト。



蜷川 千佳 Chika Ninagawa ／ピアノ

神戸女学院大学音楽学部卒業、同大学大学院音楽研究科修了。2004年、ローラント・バーダー指揮、ポーランド国立クラフ室内管弦楽団と共演。2008年、ザルツブルクで行われるマイアミ大学主催、声楽講習会にティーチングアシスタントとして参加。第33回摂津音楽祭において伴奏賞受賞。現在、神戸女学院大学、四條畷学園高等学校各非常勤講師。関西二期会、堺シティオペラ 各ピアニスト。西宮音楽協会会員。山上明美氏に師事。



川崎 萌々子 Momoko Kawasaki ／振付・ダンサー

10歳よりひろせバレエにてクラシックバレエを始める。2017年神戸女学院大学音楽学部音楽学科舞踊専攻に入学後、コンテンポラリーダンスや、マーサグラハムテクニック、GAGAなどの舞踊全般を学ぶ。島崎徹、針山愛美らに師事。卒業後、Dance nazna結成。



西本 望々子 Nonoko Nishimoto ／ダンサー

4歳から小池バレエスタジオにてクラシックバレエを始める。2017年神戸女学院大学音楽学部音楽学科舞踊専攻に入学後、コンテンポラリーダンスや、マーサグラハムテクニック、GAGAなどの舞踊を学ぶ。島崎徹、針山愛美らに師事。また、在学中、サムヒューストン大学との合同オペラに出演、Batsheva dance company のワークショップに参加。現在、Dance naznaとして活動中。



三崎 彩 Aya Misaki ／振付

2015年/神戸女学院大学音楽学部音楽学科舞踊専攻卒業。2015-2018年/NDT2で計15人の振付家の作品を踊り、世界20カ国のツアーに参加。2018年/フリーランスの活動開始。ドイツ、チェコ、スロベニアの国立カンパニーで振付家のアシスタントとして指導、オランダでの新作ツアープロジェクトにダンサーとして多数参加。2019年/オランダで年に一度ダンサーに贈られるPiket Kunstprijsenにノミネートされる。日本、神戸でワークショップ・ショーイングを企画、運営。2020年/オランダ、デン・ハーグの私立バレエ学校サマーコースのゲスト講師を担当。その他オランダのダンススタジオで多数クラスの指導にあたる。日本のダンサー向けのオンラインクラスも開催。2021年現在/日本で自身の創作作品「夢境」を発表。11月から4ヶ月にわたり開催されるオランダツアーの新作クリエーションにダンサーとして参加予定。



貴島 佳子 Kako Kijima ／ダンサー

3歳よりバレエを始める。2012年YAGP NY Finalにてアンサンブル部門2位。2014年Almaty国際バレエコンクール3位入賞。2014年Miami City Ballet Schoolへ留学。2016年神戸女学院大学音楽学部音楽学科舞踊専攻に入学。同年、全日本バレエコンクールシニア女性部門第1位受賞。2017年日本バレエ協会主催「全国合同バレエの夕べ」本部作品「卒業舞踊会」フェッチ競争役出演。2019年 Eurasian Dance Festivalにて、マラー・ホフ振付「ラ・ペリ」のソリスト、島崎徹振付「ZERO BODY」を踊る。



河野 早百合 Sayuri Kawano ／ダンサー

6歳から愛媛バレエアカデミーでバレエを始める。2014年ドイツへ留学。2016年神戸女学院大学音楽学部音楽学科舞踊専攻に入学。在学中カザフスタン と台湾で海外公演に参加。2020年卒業して現在舞踊専攻の研修生



田中 早紀 Saki Tanaka ／振付・ダンサー

貞松・浜田バレエ団特別クラス主席卒業。神戸女学院大学音楽学部音楽学科舞踊専攻卒業。卒業後、Australia Sydney Dance CampanyのPre Profetionalにてカンパニーレパトリーを踊る。Melbourneで開催されたDance Architectにて自作が次点に残り渡豪。国内では西宮市を中心にダンサー、振付、作品提供、舞台企画・制作を手がけ、後進の育成にも励む。



樋渡 祐帆 Yuho Hiwatashi ／ダンサー

4歳よりクラシックバレエを始める。2014年神戸女学院大学音楽学部音楽学科舞踊専攻に入学後、コンテンポラリーダンスを島崎徹に師事。クラシックバレエをOwen Montague、針山愛美、マーサグラハムテクニックをAlessandra Prosperi、Elizabeth Auclair、その他GAGAテクニック、解剖学、舞踊史、ソルフェージュなどを学ぶ。ジャパングランプリ入賞。Royal Academy of Dance summer school NAMUEクラシックバレエコンクール第四位。Riga Spring ballet第二位。Contemporary dance第三位。現在、関西を中心に各地でバレエ講師を務め、フリーで舞台活動中。



西端 優花 Yuka Nishibata ／ダンサー

大阪府出身。4歳よりクラシックバレエを始める。2017年神戸女学院大学音楽学部音楽学科舞踊専攻に入学。コンテンポラリーダンス、マーサグラハムテクニック、GAGAなどの舞踊全般を学ぶ。島崎徹、針山愛美、Alessandra Prosperiらに師事。在学中、中国で開催された日中文化交流学校間バレエコンクールにてコンテンポラリー部門第一位入賞。イスラエルにてBatsheva dance companyのワークショップに参加。



三谷 万葉 Mayo Mitani ／ピアノ

兵庫県立西宮高等学校音楽科ピアノ専攻を経て、神戸女学院大学音楽学部卒業、同大学大学院音楽研究科修了。ピアノを井上登与美氏、轟木裕子氏、山上明美氏に、作曲を丸尾喜久子氏、澤内崇氏に師事。各地で器楽・声楽の伴奏者として活躍しつつ、『とどろきピアノ教室』でのピアノ講師、母校の神戸女学院大学で舞踊専攻のアカンパニストを勤める。



松浦 綾子 Ayako Matsuura ／ソプラノ

神戸女学院大学音楽学部卒業、大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。第6回ジュリアード音楽院声楽オーディション奨励賞、第35回アゼリア推薦新人演奏会奨励賞、第3回豊中音楽コンクール大学・一般の部第3位、他多数入賞。オペラでは《フィガロの結婚》スザンナ、《魔笛》夜の女王、《ランメルモールのルチア》ルチア、《オリンピーアデ》アリストテア等多数出演。これまでに晴雅彦、荒田祐子の各氏に師事。現在、関西歌劇団正団員。